

《総力を挙げて集中支援を実施中！》

平成22年度大学等卒業予定者の就職内定状況等について

過日の東北地方太平洋沖地震において、被災された方々には、職員一同、心からお見舞いを申し上げます。

さて、岐阜労働局では、岐阜県における今春卒業の大学生・短大生（以下「学生」という。）に係る1月末現在の就職内定状況を取りまとめたところ、景気の先行き不透明感から求人が減少したことが影響し、就職内定者数は前年同期比3.0%減の3,143人となったものの、就職内定率は、この時期に内定を得る学生が前年度に比べて増加したため、73.2%と前年同期に比べて2.2ポイント上昇となっています。

しかし、未だ採用内定を得られていない生徒は1,151人となっているため、学校と大卒就職ジョブサポーターをはじめとしたハローワークが連携し、「卒業前最後の集中支援」を実施しているところです。

【就職内定状況の推移】

年度後半においては、雇用・所得環境は改善の動きに一服感が見受けられたことや景気の先行き不透明なことから、県内の大学・短大（以下「大学等」という。）の学校関係者によると、

- ・ 平成18年度、19年度では、10月以降も追加求人があったものの、今年度はその動きが見られないため求人は減少した
- ・ 企業の採用選考基準が厳しいため、内定を得られない学生が多く見受けられるなどと言われる一方、
- ・ ハローワークの大卒就職ジョブサポーターから支援をいただいた
- ・ 学生が粘り強く地道に就職活動を続けた

ことにより、内定を得る学生が増加していると言われており、これらの状況から、就職内定者数は3,143人で前年度より97人減少したものの、就職内定率は73.2%で前年度より2.2ポイント上昇となっています。

【今後の見通しと対策】

設備投資、輸出、乗用車販売などの個人消費などでは一部持ち直しの動きが見られることから、景気の先行きは、海外経済の情勢や為替相場の推移等を注視する必要はあるものの、緩やかな回復が見込める可能性もあるため、新規学卒者の就職環境は徐々に改善されていくことを期待するところである。

こうした状況の中、2月15日には、厚生労働省、文部科学省、経済産業省の大臣政務官から中小企業団体へ「新卒者就職実現プロジェクトの活用等による新卒者の採用拡大」について要請され、2月16日には、厚生労働大臣、文部科学大臣、経済産業大臣から主要経済団体へ「平成24年3月卒業予定者の採用枠の拡大、平成23年3月卒業予定の未内定者のための追加求人の提出」など

について要請されことを踏まえ、3月7日に「岐阜新卒者就職応援本部会議」を開催し、本部構成機関である経済5団体に対して、新卒者の就職環境や就職慣行の改善への協力や傘下企業への働きかけをお願いしたところです。

今後は、地元志向や職種へのこだわりから内定を得られにくい状況の学生も一部見受けられるものの、

- ・ ハローワークによる就職支援
- ・ 未内定学生が危機感を持って、積極的な就職活動
- ・ 専門職種による就職を希望している学生は、国家試験の結果が出て採用内定を得る学生が増加

等により就職内定者数はさらに増加するものと考えています。

しかしながら、未だ採用内定を得られていない学生が1,151人もいることから、岐阜労働局では、「岐阜新卒者就職応援本部」構成機関である産業界、労働界、中部経済産業局、地方公共団体、ハローワーク等と緊密に連携し、大卒就職ジョブサポーターによる個別職業相談、企業説明会、ミニ企業説明会等を実施するなど、岐阜新卒応援ハローワークが主体となって、新規学卒者及び既卒者（以下「新規学卒者等」という。）と中小企業との積極的なマッチングに重点を置きつつ、学校との連携により未内定者への「卒業前の集中支援」を実施しているところです。

また、「卒業前最後の集中支援」により、

- ・ 3年以内既卒者対象奨励金求人への求人確保
- ・ 学校の協力を得ながら未内定者の積極的な把握を行い、個別に連絡を取って既卒者対象奨励金求人も併せた求人情報の提供により中小企業とのマッチングの実施
- ・ 岐阜新卒応援ハローワークが主体となって、ミニ企業説明会の開催
- ・ 介護職募集事業所を対象にした管理選考会の開催
- ・ 介護雇用プログラム（雇用されながら、介護福祉士、ホームヘルパー2級の資格取得を目指す。）
- ・ 公共職業訓練（介護福祉士2年間コース）

など効果的な支援に取り組み、1人でも多くの方が正社員として就職できるよう積極的な就職支援を実施しているところです。

1 就職状況等の概要について

【大学・短大】（別添の【表1】参照）

- | |
|--|
| (1) 卒業予定者数は、5,475人で前年同期に比べ4.6%減少。
(2) 就職希望者数は、4,294人で前年同期に比べ5.9%減少。
(3) 就職内定者数は、3,143人で前年同期に比べ3.0%減少。
(4) 未内定者数は、1,151人で前年同期に比べ13.1%減少。
(5) 就職内定率は、73.2%で前年同期に比べ2.2ポイント上昇。
《参考》平成22年3月末の就職率は、91.1%であった。 |
|--|

【大学】（別添の【表2】参照）

- | |
|---|
| (1) 卒業予定者数は、3,988人で前年同期に比べ1.2%減少。
(2) 就職希望者数は、3,019人で前年同期に比べ2.7%減少。
(3) 就職内定者数は、2,159人で前年同期に比べ1.0%減少。
(4) 未内定者数は、860人で前年同期に比べ6.8%減少。
(5) 就職内定率は、71.5%で前年同期に比べ1.2ポイント上昇。
《参考》平成22年3月末の就職率は、90.5%であった。 |
|---|

【短大】(別添の【表3】参照)

- (1) 卒業予定者数は、1,487人で前年同期に比べ12.7%減少。
(2) 就職希望者数は、1,275人で前年同期に比べ12.8%減少。
(3) 就職内定者数は、984人で前年同期に比べ7.2%減少。
(4) 未内定者数は、291人で前年同期に比べ27.6%減少。
(5) 就職内定率は、77.2%で前年同期に比べ4.7ポイント上昇。
《参考》平成22年3月末の就職率は、92.2%であった。

この調査は、岐阜県内の大学等24校が、学生からの報告等により把握している状況等について、大学等の協力を得て岐阜労働局が把握し取りまとめたものです。

なお、厚生労働省及び文部科学省が公表している「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」は、抽出調査として実施しており、調査方法等が異なることから、この調査と直接数値を比較できるものではありません。

2 大学・短大別の就職状況等の特徴について

(1) 大学

就職内定率は71.5%で前年同期に比べ1.2ポイント上昇となっています。

この要因は、

- ・ 就職希望者数について、求人数の減少から大学院又は専修学校への進学に切り替えた学生が居たため、11月末現在よりも292人減少
- ・ 専門職種以外により就職を希望している学生について、10月以降の追加求人の減少や企業の採用選考基準が厳しいことから、未だ内定が得られない学生もいるものの、ハローワークから学校への積極的な求人情報の提供により、その求人に応募した学生が採用内定を得られたこと(学校では、ハローワーク等による就職セミナーに参加して、採用内定が得られているという声もあり。)などから、採用内定者数が11月末現在よりも346人増加

したことから、就職内定者数は減少したものの、就職内定者率は前年同期に比べ1.2ポイント増加となっています。

追加求人の減少は、景気の先行きが不透明なことが影響し、年度後半の求人提出を見送った企業が多かったためであると思われます。

(2) 短大

就職内定率は77.2%で前年同期に比べ4.7ポイント上昇となっています。

この要因は、

- ・ 就職内定者数について、専門職種以外(事務・販売職など)を希望している学生は、事業所見学に行ってもその後の就職試験が受けられないなどにより、未だ内定が得られていない学生がいるものの、専門職種を希望している学生については、前年度と同様に順調に採用内定が得られているため、採用内定者数が11月末現在よりも224人増加していますが、卒業予定者数の減少と専攻課程の学年延長等により就職希望者数が減少したため、前年度に比べると76人減少し、7.2%の減少
- ・ 就職希望者数が減少した一方、採用内定者数が11月末現在よりも大幅に増加したことから、77.2%と前年同期に比べ4.7ポイント上昇となっています。

自動車関連の学校では、この時期に国家試験があり、講習の受講や資格取得のための勉強に時間を取られて、就職活動に時間をかけられない状況もあり、これらの学生には大変厳しい状況があります。

(参 考)

1 就職希望者数は、大学・短大等又はハローワークの紹介により就職を希望する学生の状況を取りまとめたものである。

2 平成23年3月大学等卒業者の採用内定開始時期は、「大学卒業予定者・大学院修士課程修了予定者等の採用選考に関する企業の倫理憲章」において、次のとおり定められている。

大学・短大等 平成22年10月1日以降

3 調査時期及び発表時期

【調査時期】	【発表時期】
10月1日	11月中旬
11月末	1月中旬
1月末	3月中旬
3月末	5月中旬

4 新規学校卒業者への支援だけでなく、卒業後3年以内の既卒者についても、3年以内既卒者対象奨励金の活用も含めた就職支援を行っています。

3年以内既卒者対象奨励金活用状況（平成23年1月末現在）

求人数：2,259人、 対象者数：1,270人、 就職者数：449人

(別添)

平成23年3月新規大学等卒業者の就職状況(岐阜県)

岐阜労働局

(大学・短大)

【平成23年1月末現在】

【表1】

平成21年度 (平成22年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	5,739	4,565	3,240	1,325	71.0
平成22年度 (平成23年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	5,475	4,294	3,143	1,151	73.2
対前年度比(%、P)	4.6	5.9	3.0	13.1	2.2

(大学のみ)

【平成23年1月末現在】

【表2】

平成21年度 (平成22年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	4,036	3,103	2,180	923	70.3
平成22年度 (平成23年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	3,988	3,019	2,159	860	71.5
対前年度比(%、P)	1.2	2.7	1.0	6.8	1.2

(短大のみ)

【平成23年1月末現在】

【表3】

平成21年度 (平成22年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	1,703	1,462	1,060	402	72.5
平成22年度 (平成23年3月卒)	卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	未内定者数	就職内定率(%)
	1,487	1,275	984	291	77.2
対前年度比(%、P)	12.7	12.8	7.2	27.6	4.7

上記就職状況は、各年度の同時期おける数値である。

公表については、平成22年3月卒業者の平成22年3月末現在(前年同期の就職状況も含む)から集計を開始した。